

日本中国学会会報

NIPPON CHŪGOKU GAKKAI

1991年
(平成三年) 10月
第 2 号

〒113 東京都文京区湯島1丁目4-25湯島聖堂講内 電話 03-3251-4606

彙 報

◎ 第43回大会は、神戸大学において10月19・20日の二日間にわたって開催され、参会者も600名近くへのほり、盛会裡に日程を終了しました。山田敬三、一海知義、笈久美子、釜谷武志の各教官及び神戸大学の関係各位に心から感謝申し上げます。

10月19日の総会における諸報告及び決定事項は次の通り。

【議決事項】

- (1) 平成2年度収支決算書が承認されました。
- (2) 平成3年度収支予算書(案)が承認されました。
- (3) 選挙規約の一部改正が承認されました。
- (4) 次年度の大会開催校は、未定につき理事長に一任されました。
(大会終了後、東京学芸大学に決定しました。1992年10月17日(土)、18日(日)に大会の予定。)

【諸報告及び関連事項】

- (1) 金岡照光評議員の逝去にともない、土田健次郎氏が繰り上げ当選されました。
金岡照光学術専門委員の逝去にともない、尾上兼英氏が繰り上げ当選されました。
平成3年度の選挙管理委員は、次の各氏に委嘱されました。(※は新任)
 (理事) 丸山 昇(委員長)
 (評議員) ※倉田 信靖・※土田 健次郎
 (一般会員) ※加藤 敏・金 文京・館野 正美・※戸倉 英美・※吉崎 一衛
- (2) 『学会報』第44集の編集担当校は、新しく東京大学(責任者:池田知久教授)に委嘱されました。
第44集の<学会消息>欄の原稿を、記入責任者から東京大学文学部中国哲学研究室(〒113 東京都文京区本郷7-3-1)宛お送り下さい。資料は平成3年1月から12月までのものといたします。

『学会報』第44集の<学界展望>執筆校は以下の通りです。

- 哲 学 京都大学文学部中国哲学史研究室・代表:内山俊彦教授
(〒606 京都市左京区吉田本町)
- 文 学 早稲田大学文学部中国文学研究室・代表:松浦友久教授
(〒162 東京都新宿区戸山1-24-1)
- 語 学 お茶の水女子大学文教育学部中国文学研究室・代表:佐藤保教授
(〒112 東京都文京区大塚2-1-1)

著書及び論文の抜刷などの資料を平成4年1月末日までに上記各研究室宛お送り下さい。掲載資料は

平成3年1月から12月までのものとします。

〈学界展望〉につきましては、資料現物の送付とは別に、会員各自同封の用紙（二種類あり）により自己申告していただくことになっております。申告なさる方は、用紙に記入の上、同封の封筒を利用して明年1月末日までにご返送下さい。郵送費は各自ご負担願います。なお、御申告が無い場合は、収載漏れとなることがありますのでご注意下さい。また、研究論文目録として掲載不相当と思われるものは、執筆担当校の判断で割愛されることもあります。

○『学会報』の掲載論文公募について。

締切日 平成4年1月31日（当日消印有効）

枚数 本文・注・図版等あわせて400字詰原稿用紙55枚以内

要旨 400字詰原稿用紙5枚以内を添付する。

応募者は『日本中国学会報』巻末の〈論文執筆要領〉を参照の上、これを遵守して下さい。

（原稿は、必ず郵送のこと。本部持込みは、厳禁します。）

(3) 「中国書データベース化委員会」における活動の成果が、委員会を代表して山田敬三委員から報告されました。（『学会報』第43集 p.267以下を参照。）

(4) 本年度の日本中国学会賞は、以下の会員が受賞されました。

哲学部門 前田繁樹会員（山村女子短期大学）

文学部門 芳村弘道会員（就実女子大学）

理事長より賞状と賞金（5万円）が贈られました。

(5)

訃 報

会報第1号発行以後、次の2名の会員が逝去されました。謹んで御冥福をお祈り致します。

俣野 太郎（関東）

樋口 進（九州）

総会の席上、上記の方々与会報第1号に既載の方々に対し、黙禱が捧げられました。

○平成3年10月18日現在での退会者は、別記の通りです。

○別記の住所不明者名簿（p.7）について、ご存知の方があれば、ご一報願います。

○会費未納の方には振替用紙を同封致しますので、至急ご送金願います。

（振替：東京6-89927）

○会費未納が2年に達した方には『学会報』を送付致しません。また4年にわたって滞納されますと、会員資格が停止されます。

○『学会報』を学術刊行物扱いで送付する関係上、会員名簿は「会報」とともに送付することになっておりますのでご了承下さい。

○住所・所属機関等の変更は、速やかにご通知下さい。

○『学会報』第43集所載の山辺進論文中、5ページ上段第1行は7ページ上段第2行の後に移すよう、執筆者から申し出がありました。

退 会 者

(北海道)大東徹郎 (関東)阿部純子・石沢勇二・岩佐貫三・鐘ヶ江信光・神鷹徳治・川島郁夫・佐藤富美子・代田智明・高橋祚子・中本百合枝・林隆司・平島春水・益田博道・三木友里・村田茂・森均・山下智彦・山村達夫・吉峰宏見・若槻繁隆 (中部)小松忠志・鈴木仁・高瀬充 (近畿)秋田成明・今駒有子・内田慶市・太田進・久須本文雄 (中国・四国)大西徳治郎・三野昭一・高島俊男・広畑輔雄 (九州)再毅・野口一雄 (海外)陳道生

住 所 不 明 者

(住所をご存じの方は事務局まで御一報下さい。)

(北海道)藤本健司 (東北)阿部健治 (関東)池間里代子・金世中・小林勝人・崔在穆・丹野亮造・奈良場勝・山内雅幸・山田敦・横内哲夫 (中部)陳彬彬 (近畿)金瑛二・西岡淳 (中国・四国)有馬卓也

入会希望者の紹介について

学会への入会は、定例理事会(毎年5月・10月に開催)に於て審査の上決定されますが、入会を承認される基準は、原則として次の要件を満たすこととされています。— 現在、研究機関で中国に関係する研究に従事する者、あるいは中国の哲学・文学・語学及び中国に直接関連する諸領域を専攻する大学院学生及びその修了者。

この基準に合致しない入会希望者を特に紹介される場合は、研究歴及び研究業績についてのできる限り具体的な紹介状を添付して下さいようお願いいたします。必要に応じてさらに審査前に事務局から照会いたすこともあります。

入会希望者を紹介される場合は、下掲の入会申込書を御使用の上、必要事項を漏らさず御記入下さい。なお、「地区」は所属機関の所在地によります。

日本中国学会入会申込書

平成 年 月 日

フリガナ				男・女	生年月日	年 月 日生	
氏名	㊦						
所属機関				職名			
最終学歴	卒業修了			学料専攻			
在学学校 (院生の場合)				課程等			
現住所	〒				所属地区	地区	
	電話()			-			
研究テーマ (具体的に)							
紹介者	地区 氏名						㊦
審査結果	可・否	入会承認年月日	年 月 日	通知			

※ 太線の枠内のみ記入して下さい。必要に応じ、複写してご使用下さい。